

新役員による「げんチャレ」実施

定期的に生徒会学級委員会が企画して行っています。

目的は①突然出されるテーマに対して短時間で自分の考えをまとめる。

②「発表の仕方・聞き方」のカードを参考に自分の意見を伝える。

③人の意見を聞き、受け止めることができる。

などの力を伸ばすためです。今回は正月にちなんで「好きな餅味について」でした。1分間で考えた後に、各クラスで4～5人のグループ毎に意見交換を行っていました。3年生を参観しましたが、にこやかな雰囲気の中で行われていました。ところで、1月になり、生徒会の各委員会の委員長も3年生から2年生に引き継がれました。新学級委員長から

【まとめの話】で「僕はきな粉餅が好きです。皆さんはどんな餅が好きですか？餅もいろんな味があるように、人もそれぞれです。個人の“持ち味”を出して頑張っていきたいしょう。」という話がありました。

それを聞くまでは、「げんチャレ」のテーマに「好きな餅味」……？とと思っていましたが「好きな餅味」と「個人の持ち味」をかけていたのだと分かり、「新学級委員長、凄い！」と思いました。今後の「げんチャレ」も楽しみです。楽しみながら“伝える力”“認める力”“つながる力”を伸ばしていきたいと思います。

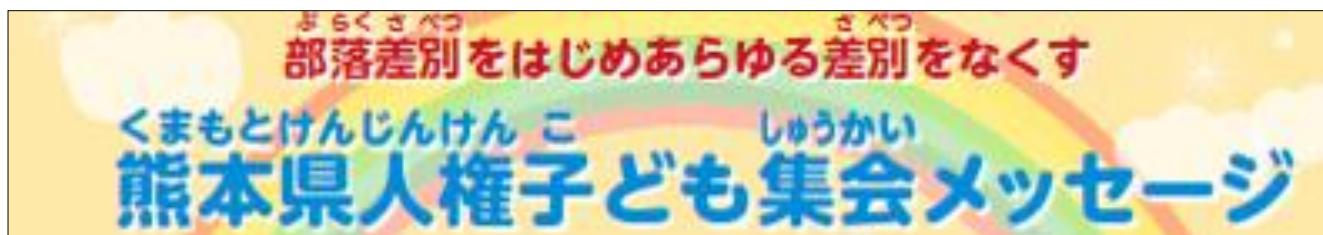


熊本県人権子ども集会

平成9年に「にんげんを大切にする熊本県子ども集会」、平成10年に「部落差別をはじめすべての差別をなくす熊本県人権子ども集会」として始まり、現在まで行われています。

以前は熊本城二の丸広場であったり、県運動公園であったり、参集型で行われていましたが、新型コロナ後はオンデマンドによる配信に変わりました。これまでも現地に行き参集した人は大きな学びにつながっていましたが、オンデマンド配信に変わったことで、現地に行かない人も、それぞれの場所で学ぶことができるようになりました。

今年の配信期間は令和6年10月24日～令和7年1月31日です。集会テーマは「輪～伝える、認める、つながる～」です。体験・活動報告は芦北町立大野小学校・玉名市立天水中学校・県立かもと稲田支援学校・県立翔陽高等学校の児童生徒が行いました。本校では来週1月29日(水)の4時間目に学びの授業を行います。目的は「部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくし、一人一人の個性、思いを大切にし、自分たちでいじめや差別をゆるさない心を持ち、仲間づくりを推進する心を持つ」事です。裏面に編集した「集会メッセージ」を載せています。



- ・熊本県人権子ども集会メッセージは、差別をなくし、一人一人の個性、思いを大切にし、人と人とが輪になり、より幸せな社会を目指すために作りました。
- ・集会テーマにある「 輪 ～伝える、認める、つながる～ 」の意味を皆さんと考えてみましょう。
- ・皆さんは、話したい事を何でも話す事ができますか。自分を知ってもらうために自己表現をする事ができていますか。相手の立場に立って考える事ができていますか。相手に対して、無意識のうちに話しかけづらさを感じて、話しかける事を遠慮してしまう事はありませんか。詳しい話も聞かず、思い込みだけで相手にきつく言ったり、攻撃したりしている事はありませんか。相手の心に寄り添っていますか。偏見を持っていますか。自分らしく生きる事ができていますか。
- ・世界的に多様性という考えが広がっています。しかし、そのような中でも差別や偏見が今もなお続いています。差別や偏見がある社会では、常に犠牲になってる人がいるでしょう。狭い選択肢の中で肩身の狭い思いや辛い思いをしている人もいるでしょう。そして、家族や友だちといった自分の周りの大切な人がそのような立場になるかもしれない。自分自身がそうなる可能性だってあります。だからそんな社会ではなく、より幸せな社会を目指して、

伝える

- ・自分の思いを形にして発信する事です。例えば、声、SNS、手話等たくさんの方法で発信する事ができます。また、自分の思いを発信できれば、個人だけでなく世界中の人たちとどんな時でも思いを伝え合い、交流する事ができるかもしれません。

認める

- ・今、世界では多様性を認め合う「ダイバーシティ」の考え方が広がっています。人はそれぞれ違いがあります。多様性を認める事とは、相手の思いや個性を理解し、互いに尊重し合う事です。「自分の考えと違う」「なんかおかしいから」と言って、否定、非難するのではなく、「こんな考え方があるんだ」「こんな思いがあるんだ」と互いを認め合う事が大切です。それぞれが認め合う事ができれば、きっと誰もが自分らしく生きられる社会になると思います。

つながる

- ・最初は離れている人と無理につながる必要はありません。まず、身近な人とつながって、それぞれが別の人とつながる事で最初は小さかったつながりも最後には大きなつながりになります。身近にできる事から行動し、つながっていきましょう。
- ・そして、みんなで「輪」を作しましょう。
- ・伝えて、認めて、つながって、みんなで大きな輪を作っていきましょう。
- ・一人一人違って当たり前です。人それぞれに、気持ちや考え、好み、価値観があります。様々な思いや考えを相手に伝え、伝えられた人もその思いを認め、つながっていく事で幸せな輪が広がっていくと思います。
- ・自分もみんなも大切な「ひと」。心と心をつなげて幸せな輪がたくさんできる社会を作っていきましょう。
- ・そして、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権を大切にする社会を私たちが作っていきましょう。

